

2023 休眠預金事業

(原油価格・物価高騰、子育て及び新型コロナ対応支援枠)

No.2 2024.9.5

【編集】

長野県中間支援コンソーシアム
PO(プログラムオフィサー)



2023 休眠預金事業は、6月25日に10実行団体が資金提供契約を締結、さらに2次募集の実行団体は7月18日の資金提供契約を締結。合計11の実行団体は各事業計画・資金計画に基づき、長野県下10広域圏での精力的な活動に入った。

長野県中間コンソーシアム・資金分配団体は、8月5日の定例会議において、11実行団体への伴走支援についてPO(プログラムオフィサー)を中心に、原則毎月15日までに月次精算報告及び事業取組み状況の報告を求めて、事業の進捗状況を確認、支援をしていくことにしました。併せて、各実行団体の取組み状況の情報誌を発行することにしました。

【伊那市社協(エリア:上伊那ブロック)】

伊那ブロックでは4月19日に「休眠預金活用による事業に係る関係者会議」を開催し、2022事業の振り返りを行い、毎月関係者会議を開催することを決めた。



8月28日(水)の開催には、上伊那ブロック内関係者18人が出席。ブロック内の広域連携活動の推進について協議、具体的な広域活動の方法について意見交換を行い前向きに検討することになった。

【木祖村社協(エリア:木曽ブロック)】

7月8日(月)木曽郡町村社協会長・事務局長会議が開催され、その席上木祖村社協が実行団体に採択されたことを報告。そして休眠預金事業が郡内6町村社協の全面的な協力で事業展開が出来るよう要請した。

8月9日(金)郡内5町村社協及び役場に、住民への回覧用のチラシを持参し配布を依頼した。対応した行政関係者からは「生活困窮者への食糧支援はありがたい事業」等歓迎された。休眠預金事業の支援事業の一つ「ゴミ屋敷片付けの支援」については、各町村からニーズが多数あることが分かった。



【長野日報1面 2024.7.24】

木曽郡の北端にある木祖村社協は、郡内の町村巡りは往復で約150km猛暑の中、高級車?(軽乗用車のベンチシート)でもあり、かなりの苦痛・重労働であった。

8月22日には、全戸配布用のチラシを郡内町村役場に届けた。支援の希望申込は10月10日で、その後支援物資の提供を開始する。

※木曽郡内人口: 約23,000人 面積: 約1,546km²

香川県の面積の82% 香川県面積: 約1,876km²



【山ノ内町社協（エリア：北信ブロック）】

7月から毎月利用希望者の申し込みを受け付け、北信ブロック内の7市町村社協を通して申込者に届けている。既に7・8月の2回の配送を実施した。



地元の運送業者が配達の際に届け先世帯の状況やニーズを聞き取り情報把握に企業貢献する体制が生まれている。

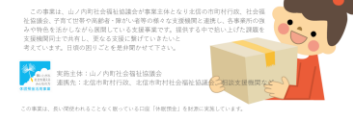


基本的な箱詰めは山ノ内町の就労作業所で行い、最終的にはそれぞれの社協でニーズをキャッチし、申込者のニーズに応じた物資を調整して届けている。

困窮世帯では食品のほかに生活用品のニーズも高いため、大きめの段ボールで荷造りに配慮している。

第3回 くらし・ふれあいサポート事業
 ～お困りの世帯に食料、日用品をお届けします～

【ご利用の流れ】
 ●申し込み期間：令和6年8月30日(火)～9月12日(休)
 ※社会福祉協議会事務局(社協)へ来入または支援関係者(ワーカー等の相談支援員)からFAX、メールによる申し込みが可能です。申込期間は限定です。
 ●送料お渡し(お届け日)：令和6年9月25日(水)～10月1日(火)
 ※最終的にはお困り世帯を優先して配達調整がなされますが、平日の夜間や日曜日に配達調整が必要な場合はお困り世帯へご連絡をお願いします。
 ●支援予定：令和6年7月から令和7年2月までの毎月下旬ごろを予定しています。



【ワーカーズコープ（エリア：中信地区）】

7月～8月は、夏休み中の子ども食堂や反貧困ネットが実施する困窮者支援イベントに、フードドライブなどで寄贈された食料を提供し、休眠助成事業による困窮者支援活動についての理解を広めた。



9月から、一般募集による困窮者世帯への食料や日用品の配送事業を実施するための準備を進めている。

休眠預金による困窮者支援活動と併せて、市民や企業の協力も広げるため、松本市の広報誌に、食料の寄贈を呼びかける下記の広告を掲載予定。

フードバンクに食品を寄付しませんか？
 ご家庭・企業からいただいた食品を必要の方へ窓口へ届けます。

●お米(前年度の物まで) ●調味料 ●保存食
 ●インスタント、レトルト食品 ●贈答品(お中元等)
 など…… ※賞味期限まで1ヵ月以上のもの

回収場所(所在地)：松本市城東2-6-17ハイツリラ101
 TEL080-3385-4510(ワーカーズコープ松本市事務局) F8888 平日 9:00~17:00

【小諸市社協（エリア：佐久ブロック）】

7月26日(金)佐久ブロック休眠預金事業担当者会議を開催して、ブロック内市町村社協に協力を呼びかけて事業を開始。

8月6日はイベント・サマーキッズフェスタを取材。



参加した子供は、勉強とご飯を一緒に食べたりポッチャや折り紙、遊びコーナーで自由に過ごしたスイカ割りでは、付き添い役がアイマスクをした子に、「まっすぐ前、止まって。1歩左」と、はっきりと指示。協力してスイカを割って楽しんでいた。



小諸市社協のサマーキッズフェスタは、初めての企画で、小諸市内全域から約40人が家族の送迎で参加した。休眠預金事業のスタッフ(次長・係長等々)が、活き活きとイベントをリードしている姿が印象的であった。

9月9日に第2回休眠預金事業担当者会議を開催予定

【はなぶさ学園（エリア：下伊那郡）】

8月2日(金)飯伊ブロック社協事務局長会議が開催され、その会議にはなぶさ学園から下伊那郡内町村社協に休眠預金事業の協力を要請した。

- 防災カフェ(子ども食堂) 今後の予定
- ◇ 9月7日 高森町 ボランティア アセンター
 - ◇ 9月11日 松川町 あらい商店街・ぷらっと
 - ◇ 9月16日 飯島町 サクラサクヨ

あつ地震だ!
 もしもの準備は大丈夫?

お知らせ
 災害時のごはんの炊き方を学べる**防災ごはんキット**
 合計720人に**無料プレゼント**
 2024/6~2025/2

物価高騰による緊急物資支援を行っています。
 生活の中で本当に困っている方々に必要な物資を無償でお届けしています。

提供する支援内容
 ●食料品・日用品・衣類 他
 ●お困り自費先
 ●お電話 09041329946 担当木下
 ●メール hanabusagakuen@gmail.com

お一人で悩まず、まずはお気軽にご連絡ください。秘密厳守いたします。

NPO法人はなぶさ学園の活動内容

不登校支援 南信州地域で教育委員会、学校、企業と連携して不登校支援活動を行っています。	就労支援 レジャーランドやICTを活用した在宅勤務のお手伝いをしています。サウンドセルワークにも参加しています。	地域資源活用事業 節電の要、竹、紙、墨を活用した産業つくりをしています。雇用出向先として活動しています。	交通安全：防災活動 交通安全教室、防災訓練や新田警察署と連携して防犯活動を行っています。
---	--	--	--

みなさまの生の声をお聞かせください

お名前、住所の個人情報は不要!!
 スマホでいつでも簡単に1~2分のアンケートです。
 物価高に関する簡単なWEBアンケートのご協力をさせていただきます。みなさまの声を今後の活動に反映していきます。

このQRコードからアンケートが表示されます。

【北アルプスの風（エリア：大北ブロック）】

北アルプス地域の5市町村社協と連携し、緊急支援ニーズのある世帯への食料や生活用品の配送を7月から実施している。

事業の方向については、7月から毎月定例で関係者連絡会議を開催し、情報を共有し協議していた柔軟な展開を目指している。

8月の連絡会では地域のニーズの状況に応じた支援の検討を行い、ライフラインのない世帯には、カセットコンロとボンベを提供する案がされ賛同を得た。

支援物資の仕分けは、北アルプスの風が運営する就労作業所「がんばりやさん」の利用者が参加し、梱包された物資は、地域の社協等が配送する。



【グローブソーシャル（エリア：諏訪ブロック）】

8月2日（金）午前、2022 休眠事業を実施した「信州協働会議の木村かほり氏を迎え、昨年度の活動展開方法や教訓に学ぶべく打合せ引継ぎが行われた。

9月12日（木）に開催される諏訪ブロック社協事務局長会議にチラシを持参して休眠事業の周知依頼を皮切りに、市町村行政等に協力の要請をお願いする予定

【飯田市社協（エリア：飯田市内）】

8月2日（金）飯伊ブロック社協事務局長会議が開催され、その席上飯田市社協の事業を紹介説明した。

8月9日（金）には、特養第二飯田荘において、休眠預金事業「もぐもぐさぼーたー夏祭りイベント・納涼祭」でを開催。納涼祭は「たこ焼き・釣りゲーム」等が中心で、さぼーたー会員の親子15組約30人参加し、特養利用者が見守る中、多世代交流の輪を拡げることができた。

参加者からは、「楽しかった」「子供が喜んでいたのでありがたい」「景品が素敵でした」等の感想が寄せられた。



【信濃福祉（エリア：長野ブロック）】

支援希望者はWebやQRコードから申込を受け付け、申込者には、8月19日から毎週金曜日に約50件の支援物資を配送している。

箱詰めや発送作業には、就労作業所「あんどわーく」のメンバーが携わり、毎週金曜日の作業として定着している。

この事業を利用した更生保護施設裾花寮や児童養護施設卒園者の支援者からは、「大変助かっている」とのお礼の言葉が寄せられている。

また、スポーツ用品店の協力により、小中学生のスポーツ用品や運動靴の購入費用の支援も計画している。



【軽井沢町社協（エリア：軽井沢町内）】

夏休みしゅくだいカフェを8月5～9日に開催。実施週間中は、子ども食堂が始まる前に宿題スペースを開放し、おにぎりセットを配布する取り組みをした。

8月6日訪問取材の日は、地元の紙ヒコーキづくりの指導者に教わり遠くに飛ぶヒコーキを作り、子どもたちは庭で歓声をあげていた。

7月の子ども食堂ひまわり、しゅくだいカフェ（学習支援）を開催状況は次のとおり
 ○子ども食堂開催回数 7回
 ○子ども食堂参加者数 180人
 ○学習支援開催回数 計5回
 ○学習支援参加者数 計11人



長野県中間支援 コンソーシアム (資金分配団体)

- ・ 公益財団法人 長野県みらい基金
- ・ 社会福祉法人 長野県社会福祉協議会
- ・ 認定NPO法人 フードバンク信州

の動き 取組み

2023 休眠預金事業 公募から契約締結までの流れ

- 4月 9日 公募開始 (HP公開)
- 12日 公募説明会 (オンライン)
- 15日～個別相談会 (オンライン)
- 5月 8日 公募締切
- 13日～ヒアリング (オンライン)
- 29日 選考審査会 (オンライン)
- 31日 2次公募開始 (HP公開)
- 6月 10日 オリエンテーション(オンライン)
- 14日 2次公募締切
- 25日 10 実行団体と資金提供契約締結
- 27日 2次選考審査会 (オンライン)
- 7月 2日 システム説明会 (オンライン)
- 18日 1 実行団体と資金提供契約締結



【7月2日システム説明会】

資金分配団体定例会&JANPIA との定例会議

資金分配団体3つの異なる法人・所在地で構成されているため、今年度当初から原則月曜日の午後1時から定例会を開催して、2023 休眠預金事業の公募、公募説明会、実行団体選考審査会、オリエンテーション、システム説明会等について打合せ、意思統一を図りながら事業を推進してきた。

7月、2023 休眠預金事業の11 実行団体との資金提供契約を締結した後は、実行団体の担当POを決め、実行団体の進捗状況の把握、伴走支援の具体的方法等情報共有を図っている。

また、資金分配団体は、JANPIA（日本民間公益活動連携機構）との月1回の定例会議を開催し、事業進捗状況や伴走支援の報告等を行い、休眠預金事業の円滑な事業展開に向けて協議を行っている。

<8月19日(月)の主な確認事項>

- ① 事業進捗状況・月次精算報告
原則、毎月15日までに提出
- ② 事業進捗状況の報告様式
 - 8月21日に送った様式（エクセルorワードどちらかを）使用して報告
- ③ 月次精算報告の勤務実績表様式
 - 8月21日に送った様式（エクセル）を使用
 - 最初のシート掲載の留意事項を要確認
- ④ 休眠預金事業情報誌の発行
 - 毎月1回の発行をめざしますので情報の提供を
 - 会議やイベントの写真には、月日と簡単な説明を
 - 長野県みらいベースホームページにもUP
トップページ→右上「お知らせ」をクリック

次回定例会は9月19日(木)13:00～ その後 JANPIA と

SSW に休眠預金事業の活用を PR

県スクールソーシャルワーカー（SSW）第3回実務者会が去る8月19日（月）に長野県総合教育センター（塩尻市）で開催され約50人のSSWが出席。

県社協・まちボラの傳田職員からチラシを配布し、SSWの支援家庭の一助となることを伝えた。

主催者&参加者からは「このような情報を提供していただきありがたい」等々感謝されました。

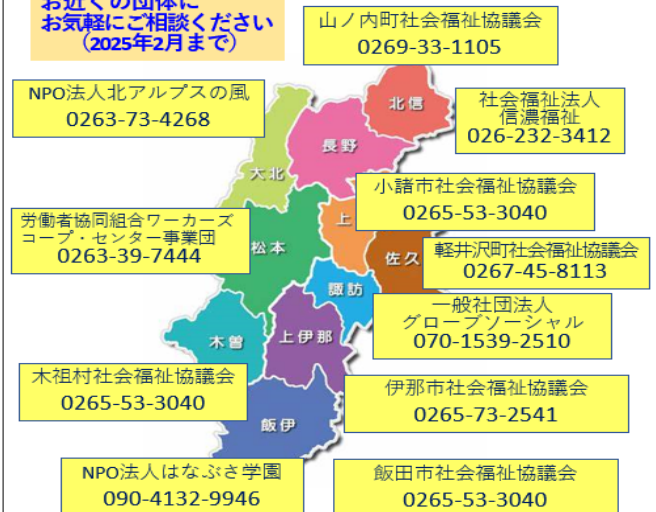
実行団体では、SSWから問合せ・相談には快く対応をいただくようお願いします。

2023 休眠預金事業実行団体

(原油価格・物価高騰・子育て及び新型コロナ対応支援枠)

地域で実際に困難を抱え、支援が十分に届いていない方々に対して、地域のネットワークによりニーズに対応した食料支援、生活物資支援を行う実行団体

お近くの団体にお気軽にご相談ください
(2025年2月まで)



長野県中間支援コンソーシアム

- ・ 公益財団法人 長野県みらい基金
- ・ 社会福祉法人 長野県社会福祉協議会
- ・ 認定特定非営利活動法人 フードバンク信州

長野県社会福祉協議会まちづくりボランティアセンター
Tel: 026-226-1882 E-mail: vcenter@nsyakyu.or.jp